

平成30年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市水川目堆肥センター		
指定管理者	団体名	農業組合法人 水川目酪農	
	代表者	組合長 松 浦 真	
	所在地	むつ市大字関根字水川目138番地208	
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）		
指定管理業務の概要	①家畜排せつ物の処理及びたい肥製造に関する業務 ②施設、備品等の維持管理に関する業務 ③清掃その他環境整備に関する業務		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。 単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計(A)	4,970	4,892	△78
うち利用料金額	0	0	0
うち指定管理料	0	0	0
支出合計(B)	4,970	4,394	△576
うち人件費	1,320	1,320	0
収支差(A-B)	0	498	498
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	経費節減によるもの。		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
		利用農家	7	7
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・無）				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事 業 名	利 用 者 数	収 入	支 出

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：改善要）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	—	—
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

今年の冬は積雪が比較的少なかったため、春先の堆肥の流出もなく良質の堆肥が出来たと思う。ただ、農家以外の利用が少なかったため、その点は改善したい。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

指定管理者の努力により徐々にではあるが、製造された堆肥の品質が向上してきたことは評価できる。度々、養護学校等からも堆肥の利用依頼があるようなので、積極的に堆肥を供給してほしい。